

クラブ活動について

1997 年以降のクラブの変遷

『岸和田高等学校の第一世紀』には過去に岸和田高校に存在したクラブの歴史が詳細に記録されているが、『岸高の 120 年』には 2017 年 3 月時点におけるクラブの紹介文のみが記載されており、各クラブ・同好会の歴史については取り扱われていない。それどころか、年表部分にすらクラブの歴史は一切記載されていない。そこで、『第一世紀』が発行された 1997 年以降のクラブについてここに記す。

.....とは言っても情報の少なさにより、はっきりしたことはなかなか分からないのだが。

情報源

クラブ部員調査表

クラブ代表者名簿及び部員数・顧問名

1 年に 1～2 回、クラブ・同好会に対してクラブ部員調査表により人数調査が行われる。この人数調査によって作成されるのがクラブ代表者名簿及び部員数・顧問名である。

現在、2008 年 6 月、2011 年 4 月（1 年生除く）、2012 年 2 月、2013 年 2 月、2014 年 4 月、2015 年 5 月、2015 年 10 月、2017 年 5 月、2017 年 10 月、2018 年 2 月、2018 年 5 月のデータが発見されている（一部のクラブ・同好会が欠けているデータも含む）。

クラブ予算

2009 年度までのものと、2015,17,18 年度のものが現存。

毎年クラブに対して自治会会計から予算が支給される。クラブが存在していることを確認できるが、部員がない等の理由により省略されているクラブもあるため、この表に存在しないことはクラブの不存在の証明とならない。また同好会の存在は把握できない。

新入生部活紹介冊子

1988,89 年度と、2006 年度以降（2015,16 年度除く）のものが自治会室に現存。また 2016 年度の冊子については、私物のスキャン画像が当書に収蔵されている。

新入生に対して配布される冊子で、前年度末に存在したクラブ・同好会の一覧が掲載されている。ただし古い年代のものについては掲載されていないクラブ・同好会が存在する。

岸高祭プログラム

岸高祭に参加しているクラブの名称を知ることができる。1987 年度以降の全年度のものが残っているため、継続的な状況を知ることができる。

情報のあいまいさについて

- ・クラブ予算は同好会には与えられないので、予算資料には同好会は掲載されない。そのため、同好会の活動実態はよくわからないものが多い。
また、予算を請求していないクラブも予算資料に掲載されないことがあるので、クラブが休部状態であるかもはっきりとしないことが多い。
- ・クラブの名称変更についての届出資料はほとんど残っていない。他の資料についても、すぐにクラブ名が更新されるとは限らず、情報が錯綜していることが多い。
また一昔前までは予算資料などであってもクラブ名の一部が省略されていることが多く（男子バスケット、陸上など）、これらについては名称変更があったのか、正式な届け出なくいつの間にか変わっていたのかも定かではない。

新設されたクラブ・同好会

少林寺拳法部

自治会所蔵の資料によると、2007 年 7 月 25 日に同好会設立申請書が提出され、2008 年 12 月 1 日にクラブ設立申請書が提出された。また、PTA 新聞『ゆうかり』によると、2007 年の 11 月に同好会として成立、2009 年の初めに部となった。

その後 2018 年度時点まで存続している。

鉄道研究部

2012 年 2 月 8 日時点のクラブ人数調査において同好会として掲載されており、また 2012 年 8 月 27 日付の部への昇格届が存在する。また、2012 年 12 月 1 日掲載の校長ブログ記事には、同年 9 月に部となったという記述が存在する。

「2011 年 9 月に同好会として成立」という情報もある（ソース不明瞭、ゆうかり?）。

その後 2018 年度時点まで存続している。

数学探究同好会

2012 年 2 月 8 日時点のクラブ人数調査において同好会として掲載されている。
2012 年 3 月発行の『ゆうかり』には登場しなかったが、同年 7 月発行のものには紹介記事がある。

その後 2018 年度時点まで存続している。

リビング部

2013 年夏に同好会として成立、2016 年までに部となった（ソース不明瞭、ゆうかり?）。クラブ人数調査では 2014 年 4 月 2 日時点で初登場し、2015 年 5 月時点では同好会だった。また岸高祭プログラムにおいては 2014 年度に初登場し、2016 年度の時点でクラブとなっている。

その後 2018 年度時点まで存続している。

クイズ研究同好会

2018 年 2 月 13 日に同好会設立希望届が提出され、2 月 28 日の生徒議会で設立が可決された。

クラブに昇格したもの

将棋同好会→将棋部→囲碁将棋部

自治会所蔵の資料によると、2003 年に部に昇格した（6/13 申請、7/3 文化系顧問団会議、9/12 文化系クラブ代表者会議、9/19 生徒議会、9/25 職員会議）。

その後、将棋部から改名された。

『ゆうかり』や新入生向けクラブ紹介冊子においては 2009 年度の時点で「囲碁将棋」となっている（2013 年度クラブ紹介冊子を除く）。

クラブ人数調査においては、2011 年 1 月時点では「将棋」、2012 年 2 月以降は「囲碁将棋」となっている。

その他予算資料や岸高祭プログラムからは該当する時期のデータは発見されていない。

設立申請があったが、残っていないもの

旅と鉄道同好会

2001 年 1 月 10 日に設立申請書が提出された。

ピアノデュオ同好会

2001 年 4 月 18 日に設立申請書が提出され、9 月 6 日に文化系顧問団会議、10 月 2 日に文化系クラブ代表者会議、10 月 30 日に生徒議会で議論され、翌年 2 月にはクラブ化の議論も行われた。

硬式テニス同好会

自治会所蔵の資料によると、2003 年度および 2005 年度に設立申請があったそうである。

邦楽同好会

自治会所蔵の資料によると、2003 年度に設立申請があったそうである。

映画研究同好会

当同好会が初めて登場するのは 2013 年 2 月のクラブ人数調査。その後、同年の『ゆうかり』や岸高祭プログラムにもその名前が存在する。しかし、2014 年 4 月 2 日時点での調査では部員が 1 人もいない状態となり、2015 年 5 月の調査結果資料では当同好会の名は見られなくなった。

廃部となったもの

ラグビー部

2000 年 2 月 1 日時点で 2 年生 5 人の部員がいたが、翌年 2 月 1 日時点で部員はいなくなった。2003 年 2 月 1 日時点でも部員はおらず、以後資料に現れない。

アーチェリー部

2003 年 2 月 1 日時点で 2 年生 1 人、1 年生 1 人の部員がいた。しかし以後の資料には現れない。

映画研究部

2001 年 2 月 1 日時点で 2 年生 3 人の部員がいた。また、2001 年度のクラブ代表者一覧に部長の氏名が記載されている。しかし 2003 年 2 月 1 日時点で部員はおらず、以後資料に現れない。

新聞部

岸高新聞という学内向けの新聞を年 3 回ほど発行していたクラブであり、予算の配分などにおいて特別な配慮がなされていた。

最後の発行は 1997 年 6 月 11 日の第 254 号。1999 年 2 月 1 日および 2000 年 2 月 1 日時点で部員がいないことが確認できる。また、2001 年度クラブ請求用紙の宛先に記載されている。その後 2005 年度クラブ予算策定で、従来あったクラブ予算からの岸高新聞発行代の割り当てが廃止されたことから、廃部になったものとみられる。

聖書研究部

1997 年度クラブ予算資料で予算請求無しとして記述されている。また、2001 年度クラブ請求用紙の宛先に記載されている。その後の記録はない。

社会科学研究部

『第一世紀』には 1993 年度に 3 名の部員がいたが、翌年度は 0 名であったと確認できる。1995 年度と 96 年度は記載されていない。1997 年度クラブ予算資料で予算請求無しとして記載があるが、その後の記録はない。

詩吟部

『第一世紀』には 1995 年度に 2 名の部員がいることが確認できるが、翌年度は 0 名であった。1997 年度クラブ予算資料で予算請求無しとして記載があるが、その後の記録はない。

手芸部

『第一世紀』には「1994 年以降は活動停止の状況にある」と記載されている。1997 年度クラブ予算資料で予算請求無しとして記載があるが、その後の記録はない。

図書同好会

『第一世紀』には 1995 年度に 7 名の同好会員がいることが確認できるが、翌年度は 0 名であった。1997 年度クラブ予算資料には記載がなく、その後の記録もない。

落語研究部

『第一世紀』には 1996 年度に 1 名の部員がいることが確認できる。しかし 1997 年度クラブ予算資料には記載がなく、その後の記録もない。

活動実態・名称の変更

フォークソング研究部→軽音楽部

「活動の実態に合わせるため」として部から改名申請があり、2002 年 2 月 20 日の生徒議会で承認された。

剣道部

男女別から男女合同のクラブと変化したようであるが、その時期が非常に不明瞭である。

クラブ予算においては、2009 年度まで男女が別となっていた。2010～14 年度は資料がないため不明であるが、2015 年度予算では男女合同となっている。

しかし人数調査においては 2008 年の時点で男女合同の部活として扱われていた。また、新入生用のクラブ紹介冊子には 2006 年度から男女合同の部活として扱われている。『ゆうかり』では 2009 年 7 月発行のものが男女合同の初出である。

バドミントン部

こちらも男女別から男女合同のクラブと変化したようである。

『第一世紀』によると 1996 年度の時点で女子がクラブとして成立、男子は同好会として成立していた。クラブ予算においては 2009 年度まで一貫して女子バドミントン部のみ掲載されていたが、2015 年度予算では男女合同となっている。人数調査においては 2008 年の時点では女子バドミントン部のみの掲載であるが、2011 年 1 月 31 日時点ではバドミントン部として男女の別無く記載されている。

一方、新入生用のクラブ紹介冊子には 2006 年度から男女合同の部活として扱われている。また、『ゆうかり』では 2009 年 7 月発行のものが男女合同の初出である。

アニメーション研究部（アニメーション漫画研究部）

名称が最も錯綜していたであろうクラブ。『第一世紀』には現在の名称と同じ「アニメーション研究部」として掲載されているが、2000 年代の資料の多くでは「アニメーション・漫画研究部」として掲載されていた。以下に具体例を挙げる。

岸高祭のプログラムにおいては、2004 年度以前と 2011 年度以降は「アニメーション研究部」（またはその略称、以下も同様）と記載されているが 2005 年度から 2010 年度まで「アニメーション漫画研究部」と記載されている。

クラブ補助金資料においては、1997 年度～2008 年度は「アニメーション漫画研究部」、2009 年度は一つを除いて「アニメーション研究部」と記載されている。なお岸高祭補助金資料においては 2007 年度の 1 枚を除き「アニメ研」などのような略称で記載されており正式名称は把握できない。

新入生用のクラブ紹介冊子においては、2006 年度と 2012 年度以降は「アニメーション研究部」、2007 年度～2011 年度まで「アニメーション漫画研究部」と記載されている。

クラブ人数調査においては、2008 年度時点では「アニメーション」と略記されているが、2011 年 1 月以降は一貫して「アニメーション研究部」と記載されている。

略記されていたと思われるもの

『第一世紀』では現在と同じ名称で掲載されているクラブ

陸上（1998、陸上競技）

野球（硬式野球）

男子バレー・女子バレー（男子バレーボール・女子バレーボール）

男子バスケ・女子バスケ（男子バスケットボール・女子バスケットボール）

男子ハンド・女子ハンド（男子ハンドボール・女子ハンドボール）

人権研究（1997、人権問題研究）

『第一世紀』で略記されていたクラブ

体操（体操競技）

庭球（1997）・軟式庭球（第一世紀）（ソフトテニス）

資料

新入生オリエンテーションの形態

2002 年度：この年のクラブ紹介は体育館開催となった影響で、新入生オリエンテーション後に冊子の配布と執行部によるクラブ・自治会の説明、部員による一言アピールのみとなり、パフォーマンスは禁止となった。

2003 年度：翌年のクラブ勧誘は、入学式当日のビラ配り、多目的ホールでのクラブ紹介（紹介・冊子・一言アピール）、ポスター掲示

2004 年度：翌年度のクラブ勧誘については、入学者説明会でのクラブ勧誘を許可。またクラブ紹介は、50 秒以内の一言アピール→自治会活動の説明→クラブ紹介冊子を配布。2018 年度：4 月 12 日（木）、45 分授業で 6 限の後に開催。はじめにクラブ紹介冊子を配布し、自治会執行部 4 人が活動の説明を行い、その後 1 クラブ 1 分（参加しないクラブもあり）の紹介を行う。司会は庶務委員で、各紹介間にクラブに関するコメントを言う。

その他

文芸部の部誌の名称について

『第一世紀』にはクラブ誌の名称として『ひとびと』『ファンシー通信』（または『ファンシー通信』）『戦略』『少女』（または『PETITEFILLE—少女—』）『カバディ』といった多様な名が挙げられている。それ以降についてはしばらくは不明であるが、2007 年ごろの『ゆうかり』に新生文芸部誕生にあたって部誌の名称を『久遠』としたという旨の記述がある。その後、2019 年度文化祭でもこの名称が使用されている（ただしその間の名称の連続性は検証されていない）。

アニメーション研究部の部誌の名称について

『第一世紀』には冊子の名称として「会誌『夢色娘』や『ぼくのマンガ』の発行など」とある。その後、1999 年岸高祭で『夢色娘』『夢色娘／別冊』が発行されており、また 2003 年 9 月の自治会資料に『夢色娘』とあるが、2008 年ごろの PTA 広報誌『ゆうかり』には『SKY』とあり、この間に名称が変化したと思われる。その後、2019 年度文化祭でもこの名称が使用されている（文芸部と同様、名称の連続性は検証されていない）。